

令和6年度 第1回瑞浪市文化財審議会

日時：6月18日（火）14時00分～

場所：瑞浪市化石博物館（別館）

次 第

1. 委嘱状交付

2. あいさつ

3. 報告事項

- 1) 令和5年度 文化財関連事業報告について 資料1
- 2) 令和6年度 文化財関連事業計画について 資料2
- 3) 深沢峡のクマガイソウ自生地について 資料3
- 4) 深沢峡のシャクナゲ自生地について 資料4

4. 協議事項

- 1) 中山道整備基本計画策定懇談会の参加者について

5. その他

- 1) 『瑞浪市の文化財』の改訂について

令和 5 年度文化財関連事業報告について

■基本目標 4：郷土愛を育む文化・芸術の振興

【施策 1 まちぐるみで守る文化財とその活用】

主な取組①…文化財の調査・保存・活用

- ・『大湫宿・森川家文書調査報告書』の刊行
- ・市内遺跡の試掘調査・出土品の整理等
- ・中山道洗掘箇所（大湫町）の応急修繕（別添写真参照）

主な取組②…地域資源を生かした学習機会の提供

- ・文化財説明看板の修繕…大島 1 号墳、弁天池（別添写真参照）

主な取組③…市民向け講座の充実

- ・市民講座（2 回）、市民参加講座（1 回）の開催

【施策 2 市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実】

主な取組①…歴史案内ボランティア等の育成

- ・かたりべ養成講座の講師

主な取組②…学校との連携

- ・出前授業、展示解説、資料貸出し等の実施

主な取組③…博物館等文化施設における生涯学習の振興

- ・展覧会、各種講座の開催

【施策 3 文化施設の充実】

主な取組①…館蔵資料の充実、調査、研究

- ・資料収集、調査・研究の実施
- ・研究報告等の刊行

主な取組②…市民公園文化施設再整備

- ・新博物館建設に向けての継続的な検討

【施策 4 後継者育成、文化芸術活動団体の支援】

主な取組①…伝統文化の後継者育成

- ・民俗文化財後継者育成事業等の補助（3 団体）

※基本目標等は「瑞浪市教育振興基本計画」による。

※スポーツ文化課の所管部分を抜粋して掲載。

- 中山道洗掘箇所（大湫町）の応急修繕について
修繕箇所…十三峠曾根松阪付近（中山道ゴルフ倶楽部付近）の延べ117m
（面積84.6㎡）

施工前



施工後



施工前



施工後



- 文化財説明看板の修繕について
施工前



施工後



施工前



施工後



令和 6 年度文化財関連事業計画について

■ 5：文化・芸術・文化財

【施策（２）文化財の調査・保存・継承とその活用】

①文化財の調査・保存に努めるとともに、適切な維持管理と広報に努めます。

- ・「大湫 森川文書調査報告書」の刊行
- ・中山道洗掘箇所（大湫町）の応急修繕
- ・中山道整備基本計画の策定（令和 6 年度・ 7 年度）
- ・市指定文化財（天猷寺の駕籠）修理事業への補助〔別添写真参照〕
- ・市内遺跡の試掘調査・出土品の整理等
- ・未指定文化財の指定（申請 1 件が提出の見込み）

②民俗文化財の保存団体等と連携し、後継者育成を支援します。

- ・民俗文化財後継者育成事業の補助

③郷土の文化財や自然や歴史、文化等に触れる機会を設け、文化財保護意識の高揚や郷土愛の醸成を図ります。

- ・『瑞浪市の文化財』改訂版の刊行（市制 7 0 周年記念事業）
- ・鶴ヶ城跡来訪者駐車場看板の設置
- ・市民講座（ 2 回）、市民参加講座（各 1 回）の開催
- ・かたりべ養成講座の講師派遣等（歴史案内ボランティア等の育成）

【施策（３）文化施設の充実】

①文化施設を適切な環境で使えるよう、整備を進めます。

- ・化石博物館屋上防水等改修、化石博物館展示室リニューアル（市制 7 0 周年・開館 5 0 周年記念）、陶磁資料館空調新設
- ・陶磁資料館の収蔵庫環境測定

②市民が郷土の自然や歴史、文化・芸術に親しむことができるよう普及活動を充実させます。

- ・学校への出前授業、展示解説、資料貸出し等の実施
- ・展覧会、各種講座の開催
- ・「清流の国ぎふ」文化祭 2024 事業の展開
（みずなみ化石フェスタ, 三番叟ーいわいごとの舞をめぐって, 陶磁資料館特別展）

③各施設における所蔵資料の充実を図るとともに、その保存・活用と調査・研究を推進します。

- ・パレオパラドキシア全身骨格復元レプリカの制作
- ・研究報告等（化石博物館、陶磁資料館）の刊行

④市民公園内の文化施設について、文化財保護及び普及活動等の拠点としてさらに充実させるため、再編に向けた検討を進めます。

- ・新博物館建設に向けての継続的な検討

※施策等は「第 7 次瑞浪市総合計画基本計画」による（別添参照）。

※スポーツ文化課の所管部分を抜粋して掲載。

●市指定文化財 天猷寺の駕籠の保存修理について
※修理完了は令和7年2月の見込み

当該文化財の現状及び搬出の様子





瑞浪市指定文化財

天猷寺の駕籠

所在地…釜戸町一五一七一 天猷寺
指定日…昭和四十四年九月二日

天猷寺の駕籠は、大名の家臣などが主君の用事で他所へ出かける際に用いられた権門駕籠と呼ばれるものです。

天猷寺の所在する釜戸町は江戸時代旗本馬場氏の領地であり、この駕籠は天猷寺の住職が檀家の法要などに出席の際、また普段は江戸に居住する馬場氏が領地である釜戸に赴いた際に代々使用したものと伝えられています。

駕籠の担ぎ棒は長さ約四・一m、駕籠は長さ約一m、幅約〇・七m、高さ約一mで、担ぎ手は前後二名（計四名）の仕様とみられます。当市に残された数少ない駕籠のひとつで、遺存状態も良好です。

駕籠の乗り口は身分の高い者が用いる引き戸となっており、窓には簾を掛けています。各所に装飾金具が打ち飾られており、普段は本堂の中で保管されています。



瑞浪市指定文化財

深沢峡のクマガイソウ自生地

所在地…日吉町深沢

指定日…昭和三十六年六月九日

クマガイソウ（熊谷草）はラン科に属する多年草で、ホテイソウなどとも呼ばれます。四月から五月頃に、唇弁が袋状になった淡白色の花が垂れるように咲き、この花の形が源平合戦で活躍した武将、熊谷直実が身に付けた母衣（マント）に似ていることからこの名が付けられました。

国内では北海道南部から九州にかけて分布し、低山地の森林内、特に杉林や竹林などに生育します。多くのひだを持つ扇形の葉が一对ついており、その間から伸びた茎の先端に一〇cm程の大型の花が付きます。

近年は過度の採取などによって自生数が著しく減少しており、環境省の絶滅危惧Ⅰ類（絶滅の危険が増大している種）、岐阜県の絶滅危惧Ⅰ類（絶滅の危険に瀕している種）に指定されています。

当市では日吉町北部の木曽川沿いの山地において自生地が確認されていましたが、現在では自生地までのアクセス道路が崩落等によって危険な状態であり、見学が困難となっています。



瑞浪市指定文化財

深沢峡のシヤクナゲ自生地

所在地…日吉町深沢

指定日…昭和三十六年六月九日

シヤクナゲ（石南花）はツツジ科の常緑樹で、シヤクナギ、シヤクナンゲとも呼ばれます。四月から六月頃、枝の先に十個前後の花が集まって、白色から紫色の大きな花を咲かせます。

日本に自生するシヤクナゲには、ホンシヤクナゲ・ホソバシヤクナゲ・ツクシシヤクナゲ・ハクサンシヤクナゲなどの種類があります。深沢峡に自生するのはホンシヤクナゲです。

ホンシヤクナゲはツクシシヤクナゲを分類上の基本種とする変種で、本州の新潟県以西と四国に自生し、深山の岩場や尾根などに生育しています。幹は高さ二mから四m程の高さに生育し、幹の質は高く枝が多く分かれています。葉は先のとがった楕円形で光沢があり、裏面には茶色の毛が密集しています。

当市では日吉町北部の木曽川沿いの山地において群生地が確認されていましたが、現在ではアクセスが困難となっています。

